

古くて新しい鉄へのこだわり

鋼板・帯鋼の専門店  
日本磨帯鋼株式会社

2013 年度 環境活動レポート

(2013年 4月～2014年 3月)



ホームページアドレス：<http://www.migakiobikou.co.jp/>

メールアドレス：[sugimoto@migakiobikou.co.jp](mailto:sugimoto@migakiobikou.co.jp)

作成日：2013年5月23日

更新日：

## □ごあいさつ

温暖化等の地球環境の悪化を防止するために一企業としてどう取り組んでいくのか！明確な環境方針のもと、全社一丸となって無駄な資源やエネルギーの消費を抑え、ゴミの排出を減らすことに最善を尽くします。またエコアクション21を通して今後も更なる環境活動を行なっていく予定です。

日本磨帯鋼株式会社  
代表取締役 杉本幸久

## 環境方針

### <環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球環境悪化を防ぐために、企業の活動(鋼材販売活動)において、必要以上のエネルギーの消費をなくし、省エネ、節水活動、廃棄物の少量化に取り組めます。又、地球環境にやさしい商品の取り扱いを増やすことによって環境負荷の低減を図り、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

### <環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
  - ・電力(工場、事務所)
  - ・自動車燃料(営業車)
- ②廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
  - ・一般廃棄物(可燃ごみ)
- ③排水量の削減(水資源の保全)
  - ・一般水道水
- ④磨帯鋼の環境用途の提案(製品・サービスへの環境配慮)
  - ・振動騒音防止材(隙間ゲージ)などへの利用
  - ・環境教育への利用
  - ・ネット販売でのPR
- ⑤エコ商品の購入(グリーン購入)

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年10月1日

改定日：2012年5月11日

代表取締役 杉本幸久

□登録事業所の概要 (全社が認証取得範囲)

- (1) 事業所名及び代表者名  
日本磨帯鋼株式会社  
代表取締役 杉本幸久
- (2) 所在地  
本社: 大阪市東成区神路3丁目2番21号  
旧住所: 大阪市東成区神路4丁目10番22号 (2014年8月まで)
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 杉本幸久 TEL: 06-6971-5531
- (4) 事業内容 (認証・登録の範囲)  
鋼板・帯鋼の加工販売
- (5) 事業の規模  
製品出荷額 2.28億円  
主要製品生産量 1200トン
- |       |                   |
|-------|-------------------|
|       | 本社                |
| 従業員   | 8名                |
| 延べ床面積 | 168m <sup>2</sup> |
- (6) 事業年度 4月～3月

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2011年	2012年	2013年
二酸化炭素排出量 (対象: エネルギー総量)	kg-CO <sub>2</sub>	10,709	10,491	8,702
一般廃棄物排出量	t	0.85	1.06	0.73
総排水量	m <sup>3</sup>	132	130	132

(注) 産業廃棄物は発生していない。

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2013		2014	2015
			(目標) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の 二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	6,077 2007年度	5,955 98%	6,104 100%	5,894 97%	5,834 96%
自動車燃料の 二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,005 2009年	3,404 98%	2,598 65%	3,404 85%	3,404 85%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	10,082	9,359	8,702	9,299	9,238
一般廃棄物の削減	kg	1,060 2011年	848 80%	733 69%	848 80%	848 80%
産業廃棄物の削減	kg	該当なし	-	-	-	-
水道水の削減	m <sup>3</sup>	187 2007年	131 70%	132 71%	131 70%	131 70%
エコ製品の購入		活動目標	文具などのエコ商品の購入		活動目標のみ	
磨帯鋼の環境への貢献		活動目標	ホームページでのPR、帯鋼の用途の拡大			

- ・二酸化炭素削減目標には都市ガスは含まず
- ・電力のCO<sub>2</sub>換算係数は0.378を使用

## □環境活動の取り組み計画と評価

4月～3月までの目標とその実績について、その評価を行った

取り組み計画	活動達成状況		次年度計画	評価（結果と今後の方向）
	評価	備考		
<b>電力の削減</b>	数値目標	未達成		
窓の遮光・断熱	○		継続	年間を通して電力削減のための努力をしたので前年度比は少し減らすことができました。但し基準年度(2007年度)比は増えています。当時に比べ工場にクーラーを設置したため。夏場のクーラー使用と冬場の暖房使用を減らす工夫をしていかねばならない。
不要照明の消灯	○		継続	
クールビズ運動	○		継続	
設備の空運転防止	○		継続	
工程ロス削減による稼働時間	○		継続	
冷房28℃ 暖房20℃	○		継続	
<b>自動車燃料の削減</b>	数値目標	達成		
アイドリングストップ	○		継続	年間を通してガソリンの消費量を減らしている。エコドライブを今後も継続的にやっていく。
エコドライブ	○		継続	
冷暖房の控え目使用	○		継続	
<b>一般廃棄物の削減</b>	数値目標	達成		
裏紙使用	○		継続	工場・事務所の中で使わない物まで置かれている事がある。必要なものだけの購入と保管にしなければいけない。3Sを実践してゴミ削減に繋げていきたい。
ミスコピーの防止	○		継続	
大阪市の紙の分別規制に対応	○		継続	
帳票見直しによる印刷物の削減	○		継続	
両面印刷用プリンタ使用	○		継続	
マイ箸、マイカップ、マイ水筒運	○		継続	
<b>産業廃棄物の削減</b>				現在は発生していない。
<b>水道水の削減</b>	数値目標	達成		
節水呼びかけ	○		継続	年間を通して、水の使用量は低位な水準をキープしている。ムダ水の使用を今後も極力避けるように全社員に徹底させていく。
水の出っぱなしの禁止	○		継続	
<b>エコ製品の購入</b>				
文房具などの購入	○		継続	社内で使用する文房具や什器・備品はエコ製品が増えた。エコ製品の使用を継続。同時にムダ使用を排除するよう指示
数値収集の準備	○		継続	
<b>磨帯鋼の環境への貢献</b>				
隙間ゲージ（振動騒音防止）	○		継続	年度後半は事務所・工場の移転に絡む用事に時間を取られ磨帯鋼・特殊鋼の用途や環境への貢献について調査する時間を取れなかった。来期にづれこんでしまったのは反省
実験資材（環境教育）	○		継続	
磨帯鋼の環境用途調査	○		継続	
ホームページの改善	○		継続	

## □環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物
騒音・振動規制法	シャーリング機
フロン回収・破壊法	業務用空調機

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

### 代表者の見直し

2013年度はCO2の削減をすることができた。その要因は車をハイブリッド車に変えたことと同時に、社員全員のエコ意識が高まってきたことによる。今後もCO2の削減、廃棄物・水道水使用の削減に取り組んでいきたい

### グラフで見るCO2・廃棄物・水道水の削減(増加)状況

